

ハンノキ

Alnus japonica (Thunb.) Steud.

カバノキ科
Betulaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の湿地や湧水地の周辺部に生育し、しばしば群生する。土地造成や道路建設などで生育環境が改変され、生育地の消滅が懸念される。

県内分布 中津・宇佐低地、姫島・国東海岸、九重火山群、(豊後水道後背地域)

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄 朝鮮半島,ウスリー,中国(東北部)

生育環境 低地や丘陵地の湿地、湧水池の周辺部。

現 状 低地の生育地では土地造成や道路工事などで皆伐され、消滅した所がある。「別府湾沿岸域」の生育地は土地改変で消滅した。「豊後水道後背地域」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。

備 考 ケハンノキ(var.*koreana*)を含む。

イワシデ

Carpinus turczaninovii Hance

カバノキ科
Betulaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 本県の生育地は限られていて個体数も少ない。生育地の崩落や生育環境の変化により、その消滅が懸念される。

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地

分布域 本州(中国) 四国 九州(福岡・長崎・熊本・大分) 朝鮮半島,中国(北部・東北部)

生育環境 丘陵地の乾燥した尾根や岩場の林内。

現 状 岩場の厳しい生育環境で、個体数の自然増は期待できず、徐々に減少する傾向にある。

備 考 県指定天然記念物「高平のイワシデ林」(本耶馬溪町)

ハシバミ

Corylus heterophylla Fischer
var. *thunbergii* Bl.

カバノキ科
Betulaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では「九重火山群」だけに分布する。野焼きの行われる放牧地、採草地などに群生するが、野焼きの停止による植生遷移の進行や牧野改良などにより、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 九重火山群

分布域 北海道 本州 九州(大分)

生育環境 丘陵地や低山地の草原、林縁。

現 状 草原が放置されて森林化している所では、個体数は激減している。

備 考 大陸系遺存植物。「九重火山群」はその南限域にあたる。母種は朝鮮半島、中国(東北部)・中国北部、東シベリアに分布する。